

No. 190
2019. 1

ねば
広報

私たちの村

人口と世帯 30年12月31日現在

総人口	912人
男	442人
女	470人
世帯数	406世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



新庁舎で初めて門杉の制作
を行いました。

1月号の主な内容

村長年頭あいさつ	2 ページ
議長年頭あいさつ 他	3 ページ
12月議会だより	4 ページ
消防団出初式 他	5 ページ
山里文化祭 他	6 ページ

年頭ごあいさつ



根羽村長

大久保 憲一

新年あけましておめでとう
ございます。平成31年の新春を
迎え、村民の皆様のご健勝を
心からお慶び申し上げます。
また日頃から温かいご支援と
ご協力によって、元気で安心
して住み続けられる村づくり
を進めることができましたこと
に、改めて感謝と御礼を申し
上げます。本年も、村民の皆さ
んが安心して安全に暮らせる
地域を、皆さんと一緒になっ
て作ってまいり所存でありま
すのでよろしくお願い致しま
す。

さて、昨年は「西日本豪雨災
害」「北海道胆振東部地震」な
ど全国で自然災害が猛威を振
るった1年でありました。関
係者の皆様にお悔やみとお見
舞いを申し上げるとともに、
被災地の1日も早い復旧・復
興を願うところであります。
当村でも台風21号、24号により

村道等への被害が発生しまし
たが、幸いにも人命に影響す
るような災害の発生はなく安
堵しているところであります。
ただ、局所的なゲリラ豪雨等
によって、いつ土砂災害等が
発生してもおかしくない状況
にあり、日頃から避難等の防
災対策にもしっかりと取り組
んでまいりたいと考えており
ます。

さて、昨年は根羽村の村政史
上に残る「役場庁舎の改築移
転」が完成しました。新庁舎は
村民の皆さんはもちろんのこ
と、多くの皆さんに気軽に訪
れて頂き情報交換や交流の場
として自由に活用して頂ける
よう施設整備を進めてしまし
た。また、村の最大の資源であ
る根羽スギ・根羽ヒノキを活
用し環境にも優しい施設となっ
ています。庁舎に入って感じ
る木の匂い、目に飛び込んで

くる木の持つ優しさ、美しさ
や快適さ、温かさを実感する
ことができます。この庁舎が、
既存建物の木質化のモデルル
ムとして多くの皆さんに関心
を持って頂けることにも期待
をしています。庁内の暖房は
村内の間伐材を利用した薪ボ
イラーを導入し、木材の熱利
用と併せ環境にも優しい村を
実践する設備となっています。

さて、ここで昨年を振り返っ
て見ますと、役場庁舎移転に伴
い駐車場やケーブルテレビ施
設の更新、インターネットサー
ビスの向上が図られました。
また、森林整備の基幹となる
林道整備を計画的に進めてい
ますが、明治用水造林地を通る
林道外山高橋線4.8kmが完成
し7月に開通式が行われまし
た。また、新たに新井地区と小
柄地区を結ぶ林道新井小柄線
の開設に着手しました。また
地震等の安全対策として小学
校体育館の耐震化を図るとと
もに、中学校のWi-Fi環境
整備や、小学校への電子黒板等
の整備など教育環境施設の整
備も積極的に実施しました。
併せて保育所、小学校、中学校
の連携強化を目的に保育所事
務を教育委員会に統合し内容
の充実を図りました。また、ラ
イスセンター設備の更新が完

成しました。小規模な耕作規模
の当村にあつてライスセンタ
ーは水田を耕作する上でなくて
はならない施設であり、今後
も農業振興に寄与してもらえ
るものと期待しているところ
であります。また、駐在所が34
年ぶりに田島地区に移転新築
され、交通安全や地域安全の拠
点整備ができました。また、安
城市の子供達を対象とした「山
の小さな学校体験事業」も今回
で3年目を迎え、多くの申し
込みがあり大変好評となつて
います。これらを受け安城市
からの親子留学制度を今年の
4月から取り組むこととなり
ました。その他村民の皆さん
の健康増進や福祉医療事業等
も計画どおりに進めることが
でき、昨年1年間それぞれの
課題に向かつて着実に事業を
進められた1年であつたと思
います。

さて、現在少子化が進む中で
これからの学校のあるべき姿
について、検討会を立ち上げ
研究をしています。地域に学
校があることが、地域が存続
することの基礎であり、次世
代を担う子供達にいかに充実
した学びの場を提供して行く
のが私たちの最大の責務で
あります。刻々と変わる社会
情勢、生活環境の中で、新たな

時代を担って行く将来のある
子供達には、学力をしっかりと
つけてもらうこと、自分で生
活して行く力をしっかりとつ
けてもらうこと、そして自分
達の住む地域に「誇り」と「自信」
を持って生き生きと生活して
行くことを実践すること、
未来ある子供達の成長を地域
全体で担って行くことが必要
であると考えています。新し
い学校体制を進めるにあたっ
て、根羽村にとって一番良い
と思われる方法を機を逃さず
に積極的に進めて行く必要が
あると考えています。今後も
PTAの皆さんや多くの皆さ
んの意見をしっかりと伺いな
がら着実に前へ進めてまいり
たいと思います。

本年も村民の皆さんの意見
をしっかりと聞きし、村民
の皆さんが「根羽村に住んで
良かった」として「これから
住み続けたい」と思える元氣
で安心して暮らせる村となる
よう一生懸命取り組んでまい
りますので、皆さんのご理解
とご協力、ご支援をお願い申
し上げます。今年が根羽村に
とつて、そして村民の皆さん
にとりまして幸多き年となる
ことを心から祈念申し上げ新
年の挨拶と致します。本年も
よろしくお願い致します。



根羽村議会議長

原 光 史

新年あけましておめでとう
ございます。

平成31年の輝かしい新春を
迎え、心からお喜び申し上げます。

本年も村民の皆様のご期待
に副えるよう努め、より良い
根羽村にするよう邁進いたす
所存です。皆様の暖かいご
理解とご支援ご協力をお願い
致します。

さて、昨年を振り返ります
と、世界各地では引き続き緊
張状態にある地域も多い中で、

日本においても隣国との関係
は益々緊迫が増しているとい
わざるを得ない状況になっ
ています。また、国内におい
ても、西日本豪雨災害や胆振東

部大地震等が発生し、被災さ
れた地域の1日も早い、復旧、
復興を願うところであります。

一方、当村では、台風によ
り若干の災害は発生したもの
の、人的被害もなく、比較的
平穏な年となりました。

そうした中で、9月には村
民の皆様のご理解とご協力に
より木材を最大限に使用して

木の香りに包まれた広く明る
い新庁舎が完成して、広く内
外に披露することが出来まし
た。林業立村を目指す当村の
シンボルになれば良いかと思
います。

さて、今年は根羽村はもと
より、日本全体が節目を迎え
る年になるかと思えます。
今上天皇のご退位を4月30
日にされて皇太子殿下が5月
1日に即位されることが決ま
り、改元という大きな変化が
あります。

また、今年は4月に統一地
方選挙、7月には参議院議員
通常選挙が行われる年であり、
今後の国、地方のあり方に大
変重要な年となります。

特に、県議会議員選挙では、
下伊那で2議席あった定数を、
飯田市と合区をして飯田下伊
那合計で4議席に削減され、
大変な激戦が予想されます。根
羽村と長野県と日本国の将来
にとって大変大事な年であり
ますが、最良の選択がされる
事を切望しています。
又、村の課題として緊迫し

ているのが、小中学校の生徒
数が減少している現状です。学
校存続の施策の取り組みとし
て「山の小さな学校」体験で
根羽の学校に転校を促すよう
な対策や小中学校一貫義務教
育に向けての研究取り組みも
しています。

特産品の宣伝効果にもつながっ
ています。
また、山地酪農についても、
昨年は1頭だけでしたが、徐々
に数が増えて現在4頭を飼育
するなど、本格的な事業化に
期待するものであります。

とは出来ません。今後村議会
議員一同は、村民の皆さんや
行政と一緒に、将来の根
羽村を考えていく所存ですの
で、引き続き、皆様の貴重な
ご意見やご提案を頂けますよ
う、ご理解と、ご協力をよろ
しくお願い致します。

平成30年 根羽村十(重)大ニュース

順位	行 事 ・ 内 容 等
1	根羽村役場新庁舎落成 【コメント】 根羽村役場新庁舎が8月末に完成し、9月3日から業務を開始、9月8日には村内外から約100名のお客様をお迎えして落成式が開催されました。地域材をふんだんに使用した庁舎には、環境への配慮、地域経済循環への貢献を目的に新ボイラーを導入しました。また、移転に併せた機器更新によりインターネットサービスの増速や周辺の環境整備も同時に実施しました。
2	新たな根羽学校検討委員会発足 【コメント】 小・中学校の児童生徒が減少する中、新しい時代に対応した学校づくりの方向性を検討する委員会を発足し、村全体で検討を開始しました。
3	林道外山高橋線開通 【コメント】 森林の健全な管理のため平成17年度より始まった林道外山高橋線の開設は、延長4.8km、総事業費約6億円で、村が事業主体となり、国と県の補助金を受け、残りを明治用水土地改良区が負担し開設しました。
4	学校教育施設整備の充実 【コメント】 学校体育館の天井を耐震化を図るとともに、子供達が安全に活動できるように傷ついた床の研磨を行いました。また、中学校の普通教室棟へのWi-Fi環境の整備、スクールバスを雪道に強い4WD車に更新する等学校教育環境の充実を図りました。
5	幼児教育の充実 【コメント】 保・小・中の連携強化と事務の効率化を図るため、保育所の事務を教育委員会に移管しました。また、未満児の子供たち「こねばちゃん」の活動拠点として保育所の一部を改修するなど、幼児教育の充実を図りました。
6	飯田警察署新根羽村駐在所落成 【コメント】 34年にわたり初入地区にあった飯田警察署根羽村駐在所が田島地区に移転しました。根羽スギを使用した木造平屋建てで、今まで以上に地域の親しみある駐在所として地域の安心・安全の確保が図られます。
7	新規林道新井小桁線開設着手 【コメント】 林業基盤整備の一環として、新たに林道新井小桁線の開設に着手しました。計画では延長1,500mで平成37年度の開通を予定しています。
8	農業振興施設整備の充実 【コメント】 ライスセンター・コンバインは竣工・導入から20年以上が経ち、老朽化が進んでいたため、機器や設備を更新しました。ライスセンターには出荷米の品質を上げるため、色彩選別機を新たに導入し、コンバインは作業の効率化を図るため4条刈りを実験導入にしました。
9	親子留学の募集始まる 【コメント】 平成31年度からの受け入れを予定している「根羽村親子留学」参加者募集が始まり、安城市教育委員会を通じて市内の児童・生徒の全家庭にチラシを配布すると共に、10月には安城市教育センターで制度説明会を行いました。体験留学には4組の家族が来村し、村や学校での生活を体験しました。
10	人権啓発活動実施 【コメント】 5月から小中学生が人権の花運動に取り組み、日々草、サルビア、マリーゴールド等を育ててくれました。また、10月13日には根羽村を会場に人権啓発推進大会が開かれ人権講演会、長野県警察音楽隊による演奏会が行われました。

議会だより

12月定例会
一般会計補正予算等
9議案について審議

12月13日・18日の2日間にわたり、12月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆下井敦志議員

質問

自主財源の確保と新たな財源の創出について

- ①村有財産活用
- ②発行物の広告
- ③資源ゴミの回収
- ④コミュニティファンド、クラウドファンด์
- ⑤新たな財源の確保

回答

- ①村の資源である木材を有効に活用し間伐収入等について検討していく。
- ②平成20年から実施しており、役場の封筒に村内で希望する企業名を載せている。PRするため有効であるので封筒に限らず今後も活用していく。
- ③平成18年から2ヶ月に一度実施している。今後も資源として回収できるもので村の収入になる事があれば前向

きに考えていく。

- ④村として、この事業を利用し財源を確保する具体的な案は現状見当たらないが今後、活用できる制度あれば検討していきたい。
- ⑤民間が運営資金を提供し、サービスの提供を公共が負担する安城市アンフォーレを例としたPFIの活用、林道外山高橋線の開設事例のように主たる利用者に補助金を負担してもらう財源の確保、森林、河川を活用した利用料の徴収、森林環境譲与税の活用など外部の資金が村内に投入されて村づくりが出来ればと考えている。

◆片桐清博議員

質問

来期への意欲について

回答

平成23年の5月から村長に就任し現在、2期目が終わろうとしています。村づくりの基本スタンスである3つの循環と流域連携また、5つの目標の観点からそれぞれの事業について議会、村民の皆さんと一緒に取り組んできました。様々な課題が山積する中ではあります。関係する皆さんのお力を頂きながら残された任期に全力で事業を遂行し勤めていきます。今後については、しかるべき時期に相談申し上げながら考えていきます。

条例

◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づいて、期末手当率等の改定がされました。

◆ポスター掲示場の設置に関する条例

◆選挙の公報の発行に関する条例

村の長及び議会議員選挙においてポスター掲示場の設置

及び広報発行に関する新たな条例の制定がされました。

補正予算

◆平成30年度根羽村一般会計補正予算(第五号)

小・中学校空調設備設置費等により、1億1615万7千円を追加し、総額17億9530万円余となりました。

◆平成30年度根羽村国民健康

保険特別会計補正予算(第2号)

29年度調整交付金等により、8920万4千円を追加し、総額1億8801万2千円余となりました。

◆平成30年度根羽村介護保険特別会計補正予算(第2号)

包括支援センター事業費等78万4千円追加し総額2億482万7千円余となりました。

申告相談のご案内

平成30年所得の確定申告は2月18日(月)から3月15日(金)まで(土日は休みです)となっています。今年も下表のとおり申告相談を行います。都合のつかない方は随時受付をいたしますので、お早めに申告をお願いします。

平成31年度分村県民税申告書には、住所、氏名、生年月日、配偶者等、必要事項を記入してください。給与所得のみで年末調整済みの方、所得が全く無く村内にお住まいの方の扶養等になっている方は申告が不要です。

※個人で営業、請負事業等をしている方は必ず申告をして下さい。

その他ご不明な点がございましたら、役場総務課までお問い合わせください。

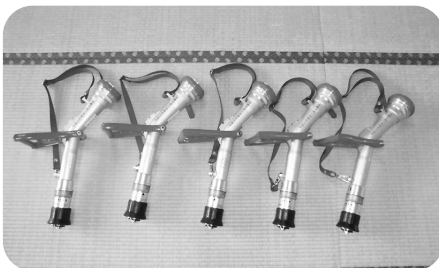
申告(納税)相談日程

期 日	時 間	適 用
2月18日(月)	午前9時 ～午後5時	医療費控除、住宅控除 農業等収支計算のある方
2月19日(火)		
2月20日(水)		
2月21日(木)		中央地区
2月22日(金)		北洞地区
2月25日(月)		東洞地区
2月26日(火)		南洞地区
2月27日(水)		西洞地区
2月28日～3月15日 (土日は除く)		該当日に申告出来ない方

宝くじの助成金で整備しました

公益財団法人長野県市町村振興協会から宝くじ助成金により浅い水利で給水可能な低水位ストレーナーを4台、筒先員の負担を軽減でき自立放水が可能なワンタッチ無反動管鎗(65)噴霧ノズル付きを5本、林野火災等の消火で使用する背負い式水のう17基を整備しました。

低水位ストレーナー

ワンタッチ無反動管鎗(65)
噴霧ノズル付き

背負い式水のう



消防団出初式

平成31年1月5日、根羽村消防団出初式が厳粛に挙行されました。今回の市中パレードは森林組合黒地倉庫からしゃくなげまで行い、根羽小学校の少年少女消防クラブ員も消防団と同じ隊列に入り行進しました。

その後、しゃくなげで式典が行われ、南信州地域振興局長様、飯伊消防協会長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に開催できました。最後に「火の用心三唱」を参加者全員で行い、今年1年の無火災の祈念とお互いの防火意識の高揚を図りました。

また長年にわたり根羽村消防団で消防活動に従事された石原淳分団長と栢野透さんが今年度をもって退団される予定です。



▲火の用心三唱

根羽村更生保護女性会 長野保護観察所長感謝状及び長野県更生保護女性連盟会長表彰受賞

根羽村更生保護女性会の中野の片桐利江さん、上町の鈴木ときゑさんが長野保護観察所長感謝状を、大畑の永田明美さんが長野県更生保護女性連盟会長表彰を受賞されました。3名の方々は民生児童委員としても活躍されていますが、保護司さんと一緒になって更生保護女性会としても活動されています。今回の受賞は永年に渡り活動に従事しその功績が顕著な方、他の模範となる方を対象として贈られるものです。3名の皆様受賞おめでとうございます。



第21回 福祉と健康の集い

日 時 平成31年 3 月 3 日(日) 午前10時00分から **場 所** 福祉センター しゃくなげ

根羽村民が健康管理に目を向けて、健康や福祉に関する日頃の疑問や不安をこの機会に解決して、健康的に毎日の生活を送っていただくために、“根羽村福祉と健康の集い”を開催しますので、皆さん是非お出かけください。

時 間	内 容
10:15～ 13:50	足助病院の 医師・看護師・検査技師 の方々による講演等 ○口の体操 ○講演会 講師：足助病院 医師 足助病院 看護師さん検査技師さんによる ○健康チェック＆健康相談コーナー 健康に関する相談をお受けします ・筋肉量測定 ・血圧、身長、体重測定 ・認知症予防
13:50～	式 典 根羽村社会福祉協議会功労者表彰等
14:30～ 16:30	講 演 会 (大杉大学冬期講座) 講 師：立川 談慶さん(落語家) テーマ：「笑い与健康」
10:00～ 16:00	杉っ子 昼食等販売 五平餅、茸おこわ、豚汁、からすみ、大福餅、豆餅 ぽてとの会 傾聴ボランティア「和」 梅の会 ・物資販売他 ・バザー ・手づくりの「ねこ」などの販売

今年も“根羽村福祉と健康のつどい”を開催します。

大杉大学との共催で行われる講演会は、立川談慶さんをお迎えする予定です!!!

毎年恒例の足助病院の方々による教室や講演をはじめ、健康チェックや健康相談コーナーを設けていますので、健康やご自身の体の不調など、日頃の疑問や不安を解消し、健康的な生活を送るためにこの機会をぜひご活用ください。

また、杉っ子、ぽてとの会、傾聴ボランティア「和」、梅の会の皆さんが当日の花を添えてくださいます。

詳細が決定しだい、チラシを作成して回覧します。

ぜひ、しゃくなげまでお出かけください。皆さまのお越しをお待ちしています。

山の小さな学校体験

昨年8月夏休み期間の違いを利用して開催した、「緑いっぱい山の小さな学校体験」に参加した児童とその家族に、再び根羽村に招待し、フットボール事業として村内の児童と交流を図りました。

山の小さな学校体験は、安城市の子ども達に自然豊かな環境や少人数の学校の良さを感じてもらい、将来的に親子留学につなげ、児童の増加につなげるための事業で、夏に訪れた児

山里文化祭

12月16日(日)に山里文化祭がしゃくなげと役場で開催されました。特産品に繋げることを目標に掲げ、村内外から80名余りの皆さんに参加していただきました。

根羽村で採れる材料を使った4つの田舎料理体験で、ふるさとの味や根羽村ならではの調理方法を習得し、根羽村の杉の木やわら等を使った木づかい・農体験を通じて、根羽村の特産品を開発する意見交換を行いました。写真は、

児童24名のうち22人とその家族が参加。今年度は更に、親子留学体験に参加して頂いた家族も招待し、安城市から26名の親子が参加してくれました。



根羽村の児童と久しぶりの再会に大喜びでした。初日は、鬼ごっこやドッジボールをして交流、餅つきをして味わいました。

2日目はどんどこ焼きを行いました。火やパンパンと竹の割れる音

体験の一部ですが、どの体験も好評で、体験した後のアンケートでは貴重な意見をたくさんいただきました。

体験内容

◇田舎料理体験

しし角煮まん
しし角煮焼きおにぎり
コーンパン

干し椎茸かりんとう

◇木づかい・農体験

木工ホワイトボード

わらを使った正月飾り

やぎ乳せっけん

杉アロマ

薪割り



木を使ったおもちゃ



田舎料理試食

竹チッパー

動く木のおもちゃ
木を使ったおもちゃ(オセロ・囲碁等)



に歓声が起こっていました。今年は雪がほとんどなく、遊びはできませんでしたが、前夜に降ったわずかな雪で、雪だるまなどを作って根羽村の冬を体験していただきました。来年度からは安城市から親子留学の受け入れをはじめますが、こうした事業を通して多くの子どもたちが根羽村に来てくれることを期待しています。